

美浜町健康支援あいあいアプリを
活用しませんか？

町では、健康的な生活習慣の定着や高齢者の社会参加・生きがいを目的に「美浜町地域あいあいポイント」事業に取り組んでいます。

18歳以上の町民及びげんげん運動サポーター企業に務める方を対象とし、指定する健康づくり活動や地域貢献活動に取り組んでいただくことで、ポイントを取得することができます。また、貯まったポイントは指定した町内店舗（飲食店や地元商店）で使用できるクーポン券に還元することができます。

健康支援あいあいアプリって？

令和3年度から「美浜町あいあいポイント」事業が始まり、当初手帳のみの方法から令和4年度に「健康支援あいあいアプリ」が運用開始となりました。

今年度対象年齢を引き下げ、アプリの機能を大幅にリニューアルし、歩数計等の機能が追加されたことで、より便利になりました。

ポイント付与について

還元率	1ポイント1円
付与期間	当該年度の3月31日まで
交換最大ポイント数	5000ポイント
交換内容	1000ポイント毎にクーポン券を発行
クーポン券の有効期間	当該年度の3月31日まで

こんな活動で貯められます！

- 1日の歩数(3000歩～)※1
- 町主催・共催・協力する健康づくり事業への参加
- 町実施の健康診断または人間ドックの受診
- 地域貢献活動の運営(ボランティア活動等)※2
- 自主グループでの健康づくり活動※2 等

※1 歩数でのポイントは、翌日のアプリ起動時に付与されます。毎日アプリを起動しましょう。
※2 60歳以上対象



アプリホーム画面

アプリの登録について

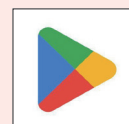
- ①下記の二次元コードからダウンロードしていただくか、AppStore(IOS) または GooglePlayStore(android) から「美浜あいあい」で検索、インストールしてください。
- ②本アプリでは歩数を直接取得することはできません。IOSの場合は「ヘルスケア」、androidの場合は「Google Fit」との連携が必要になります。



ダウンロードは
こちらから



App Store(IOS)
アイコン



GooglePlayStore
(android) アイコン



ヘルスケア
アイコン



Google Fit
アイコン

※お問い合わせ先 町健康福祉課(担当・中西) ☎ 32-6704

国民健康保険税の税率等の変更と
軽減制度をお知らせします

国民健康保険税は、病気やケガ等をした時に、安心して医療を受けられるよう、国民健康保険の被保険者の皆さんに、公平・平等に負担していただくものです。

国民健康保険税の納税義務者は、被保険者がいる世帯の世帯主(※)になります。

(※)…世帯主が国民健康保険に加入していない場合(社会保険や後期高齢者医療保険の被保険者)でも、同一世帯内に国民健康保険の被保険者がいれば、世帯主の方が納税義務者(擬制世帯主)となります。

国民健康保険税の税率等

国民健康保険税は、被保険者に対して3区分(医療保険分、後期高齢者支援金分、介護保険分)それぞれについて、課税限度額を上限に所得割や資産割等を算出し、世帯で合計した金額が年間の保険税となります。

今回の税率改正では、医療保険分の資産割税率が18%から12%に引き下げられました。また、後期高齢者支援金分の課税限度額が22万円から24万円に引き上げられました。

税率及び税額については、次のとおりです。

○令和6年度の税率及び税額

区 分		税率・税額	課税限度額	
全被保険者	医療保険分	所得割	6.51%	65 万円
		資産割	12%	
		均等割	27,400 円	
		平等割	26,000 円	
	後期高齢者 支援金分	所得割	1.81%	24 万円
		資産割	－	
均等割		8,400 円		
平等割		7,000 円		
40 歳以上 65 歳未満	介護保険分	所得割	1.80%	17 万円
		資産割	－	
		均等割	8,500 円	
		平等割	5,000 円	
合 計		所得割	10.12%	106 万円
		資産割	12%	
		均等割	44,300 円	
		平等割	38,000 円	

所得割額 … 被保険者の所得に対して算出
・課税所得金額(前年中の総所得金額 - 43万円)×税率

資産割額 … 被保険者の固定資産税に対して算出
・本年度の固定資産税額×税率

均等割額 … 被保険者1人につき加算
・被保険者数×均等割額

平等割額 … 1世帯につき加算
・1世帯×平等割額

国民健康保険税(年額)
＝所得割額＋資産割額＋
均等割額＋平等割額

国民健康保険税の軽減制度

前年中における世帯の所得金額の合計が一定基準額以下の世帯は「均等割」と「平等割」が軽減されます。

軽減制度利用の申請は不要ですが、同じ世帯に所得の申告をしていない方がいる場合、軽減判定ができません。国民健康保険被保険者及びその世帯主の方は、収入の有無に関わらず、毎年必ず収入の申告をしてください。

・未就学児に係る均等割額の減額

子育て世帯の負担軽減を図るため、国民健康保険に加入している未就学児に係る均等割額の2分の1を減額します。

なお、所得に応じた均等割軽減措置(7・5・2割軽減)対象の未就学児の場合は、軽減適用後の残りの均等割額の2分の1を減額します。

○令和6年度の軽減判定所得基準額

軽減割合	「世帯主(擬制世帯主を含む)」「被保険者」「特定同一世帯所属者(※)」の前年総所得金額等の合計額
7割	43万円＋10万円×(給与所得者等の数－1)以下
5割	43万円＋29.5万円×(被保険者及び特定同一世帯所属者の数)＋10万円×(給与所得者等の数－1)以下
2割	43万円＋54.5万円×(被保険者及び特定同一世帯所属者の数)＋10万円×(給与所得者等の数－1)以下

(※)…国保から後期高齢者医療制度に移行された方で、移行後も世帯主及び世帯構成に変更のない方

※お問い合わせ先
町税務課(担当・藤田/山口) ☎ 32-6702

↓親子で協力して植え替え体験（園芸研究センター・あおなみ保育園）



親子で楽しく！ 町内保育園で親子遠足

町内の保育園児が保護者と一緒に町内施設を回る親子遠足が、5月23日にみずうみ保育園、24日にあおなみ保育園、28日にせせらぎ保育園で行われました。

同遠足は、「地域愛を育む」とこと「子育て支援」を目的に保育園が企画したもので、町内企業の協力を得て実施されました。

園児たちは、見学や体験を行い、親子で楽しい時間を過ごしていました。

↓イチゴ狩りを楽しむ園児たち（ハマベリー・せせらぎ保育園）



↑電池推進遊覧船に乗る親子たち（レイクセンター・みずうみ保育園）

↓感謝状を受け取った藤田代表取締役（中央）



町内の子どもたちの安全を守るために 歩行者安全対策にかかる感謝状贈呈

5月29日に、町から(有)藤田興建（佐田）に歩行者安全対策にかかる感謝状を贈呈しました。

この感謝状は社会・地域貢献を目的に「歩行者止まれマーク」を町内60カ所に無償施工された(有)藤田興建に対して感謝の意を評したものです。

贈呈式で藤田憲弘代表取締役は「要望があれば今後も、お手伝いさせていただく」と述べていました。

↓へしこを試食する来場者たち



おかげさまで1周年！ 美はま食べより

6月1日と2日に、道の駅若狭美浜はまびよりの開業1周年を記念して「美はま食べより」が開催されました。

この催しは、道の駅若狭美浜はまびよりが主催し、美浜の食をPRするため、太田そばやキッチンカーが出店した他、お酒の試飲やへしこの試食・販売等が行われました。

当日は多くの人々がはまびよりを訪れ、美浜の食を楽しむ等会場は大いに賑わっていました。

↓漂着したごみを拾い集める参加者たち



綺麗な町・海を守るために クリーン・ザ・シー・キャンペーン

6月9日に、クリーン・ザ・シー・キャンペーンが久々子海水浴場で行われました。

この活動は、美しい浜プロジェクト第2弾として行われ、町民や町外からのボランティア等、約150人が参加しました。

この日は、クリーンアップ大作戦 in 美浜も開催され、町内各所で清掃活動が行われました。

↓白熱の試合を繰り広げる決勝戦「興道寺対美し野」



春の熱戦 第60回美浜町民軟式野球大会

5月19日に、第60回美浜町民軟式野球大会が総合運動公園野球場で行われました。

大会では、トーナメントによる試合が行われ、町内4チーム、約65人が参加。決勝では、興道寺が7対6で逃げ切り、見事優勝を収めました。

大会結果は次のとおりです。

優勝 興道寺 準優勝 美し野（初参加） 3位 早瀬、新庄

↓大平氏と一緒に笑いヨガで体を動かす来場者たち



笑い与会話で認知症予防 美浜町町民人権講座

5月26日に、今年度第1回目となる町民人権講座が開催されました。

講座では講師の大平哲也氏が、「認知症予防に大切なポイント」や「笑い認知症の関係」についてをテーマに講演されました。

来場者は、認知症と笑いについて理解を深めながら、講演中に行われた笑いヨガを楽しんでいました。



まちウォッチング
atching



↑クリーンアップ大作戦 in 美浜 開始式



まちウォッチング

special photo report

特別編

歓声響き、笑顔広がるグラウンド 小学校体育大会

6月1日に、町内3小学校の体育大会が各小学校のグラウンドで開催されました。
当日は、リレーや綱引き等の競技に加え、練習を重ねてきた一輪車やリズム（ダンスや踊り）が発表されました。
児童たちは快晴の中、全力で競技等に挑み、グラウンドに歓声を響かせていました。

